



2024.02.29

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

VANTAGE | GT4

アストンマーティン、新型 Vantage GT4 を発表 GT レーサーの最強ラインアップが完成

- Vantage GT4 が新型 Vantage GT3 に加わることで、2024 年シーズンに向けたアストンマーティンの強力な GT レースへの取り組みが完了
- 新型 GT4 レースカーは、最新の Vantage ロードカーに採用された性能向上を披露
- アストンマーティン・レーシングが Vantage GT3 と並行して開発・製造し、新規技術パートナーシップの恩恵を享受
- エアロダイナミクスと冷却性能の向上に加え、アクセス性能とドライバーの信頼度を最大化することに注力



2024 年 2 月 27 日、ゲイドン（英国）：

アストンマーティンは、先ごろ好評を博した新型 Vantage ロードカーと Vantage GT3 レーシングカーの発表に続き、新型 Vantage GT4 を発表します。パートナーであるレーシングチー

ムや熱烈なサーキットファンをターゲットとした **Vantage GT4** によって、アストンマーティンの強力な **GT** ラインアップが完成し、サーキット走行から **F1®** まで、ブランドのモータースポーツへのコミットメントが明確に示されています。

新型 **Vantage GT4** は、先代の **Vantage GT4** の卓越した実績に基づいて開発されており、GT レースのジュニアカテゴリーでの即戦力になると見越しています。最新の新型 **Vantage GT4** は、新型 **Vantage** ロードカーに採用された性能および技術面の向上の恩恵を受け、シャシー、エアロダイナミクス、ドライブトレイン、効率性能などに多くの改良が加えられ、アストンマーティンの最新マシンの競争力をかつてないレベルに高めています。

アストンマーティン・ラゴндаのチーフブランド&コマーシャルオフィサーであるマルコ・マティアッチは、アストンマーティンの **GT** レースのラインナップの新モデルについて次のように述べています。「新型 **Vantage GT4** は生まれながらの勝者です。センセーショナルな新型 **Vantage** ロードカーに採用された大幅な性能向上の恩恵を受け、**Vantage GT3** と並行して開発された **Vantage GT4** は、当社のロードカープログラムとレースカープログラム間のシナジーが高まっていることを示すものであり、ロードカーとしてクラス最高のパワーと技術が、サーキットではレースに勝つ走りにつながります。」

「新型 **Vantage GT4** の発表により、アストンマーティンのパートナーチームとさらに緊密な関係を築くことができるようにもなりました。現在、世界のさまざまな **GT** レースで **40** を超えるパートナーが積極的に参戦しており、その多くは複数のマシン、および複数のクラスで参戦しています。こうした幅広い参戦によって、あらゆるレベルのモータースポーツ競技への当社のコミットメントが示されるだけでなく、スポーツカーレースやル・マンでの私たちの活躍を通じて、当ブランドに魅了された多くのファンやフォロワーの幅広いコミュニティとの緊密な関係構築への取り組みも明確になります。」

Vantage GT3 と同様、新型 **Vantage GT4** もアストンマーティン・レーシング (AMR) によってデザイン、設計、製造されています。2005 年以来、アストンマーティンの公式 **GT** レースのパートナーである **AMR** は、今や伝説となった **DBR9** 以来、市販車と同じ装備を持つすべてのアストンマーティン **GT** レーシングカーを手がけています。この極めて重要な継続性と他の追随を許さない深い知見が、そのまま **Vantage GT4** のプログラムに反映されています。

アストンマーティン **Vantage GT4** のプログラムは、数々の成功を収め、複数のタイトルを獲得した現行の **GT4** カーを基に構築され、新型 **Vantage** ロードカーに用いられたさまざまな成果を活用して、新世代レーシングカーでさらなるパフォーマンスを達成しています。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは次のように説明しています。「新型 **Vantage GT4** は、従来のマシンを大きく進化させたものです。アストンマーティンのロードカーとレースカーのプログラム間のシナジーをより高めることで、チームやドライバーに高く評価されてきた **GT4** の主要な特質は保持する一方で、**AMR** は新型 **Vantage** ロードカーに施された改良を活用し、スピードと効率を向上させることができました。」

厳しいレギュレーションにより、**Vantage GT4** は市販の兄弟車と非常に近い装備を備えており、レースカーはロードカーの構造およびメカニカルアーキテクチャの約 **80** パーセントを共有しています。その中心となっているのがボンデドアルミニウムシャシー（接着アルミニウムシャシー）で、ボディワークが取り付けられる前に、厳しい安全要件を満たすために完全にカスタマイズされたロールケージが装着されます。

4.0 リッター・ツインターボ **V8** エンジンとトランスミッションは、いずれも **Vantage** ロードカーのコンポーネントをベースにしており、主な変更点は電子制御システムです。前者にはボッシュモータースポーツ製 **ECU** と **AMR** が開発した特注のソフトウェアが、後者には **ZF/AMR** モータースポーツ・ソフトウェアが搭載され、市販車標準のオートマチック・トランスミッションを制御します。特注のソフトウェアは、**8** 速トランスミッションをオートモードなしの **6** 速パドルシフトに「変換」し、巡航速度での燃費向上のために装備された、公道走行可能なオーバードライブ・レシオの **7** 速と **8** 速をロックアウトします。

電子制御システムの変更は、主にエンジンの管理とターボ制御システムを正確にコントロールし、**GT4** 選手権の主催者が定める厳格な **BoP**（性能調整）の基準を満たすために行われます。また、こうした変更が行われたおかげで、ギアシフトを最適化し、モータースポーツ特有のトラクションコントロールを作動させることもできます。**Vantage GT4** のコックピットには、ロードカーの計器表示に代わる最新のボッシュ製 **DDU 11** ディスプレイも搭載されています。

シャシーの改造もレギュレーションの影響を受けています。インボードサスペンションの取付位置は市販車と同じですが、サスペンションリンケージに若干の変更が認められています。こうした措置は、レーシング用途に適切なキャンバーの範囲を確保するためであり、また、新型車に装着される **21** インチホイールよりもかなり小さい、**18** インチ径のホイールとタイヤのパッケージに適合させるためでもあります。**Vantage GT4** には、**AMR** 仕様の特注鍛造のアルミホイールが新たに採用されています。

ダイナミックパッケージで注目されるのは、**AMR** と有名なサスペンション・メーカーとの技術提携の一環として提供された、新たな **2** ウェイ調整式 **KW** ダンパーです。過去 **6** 年間にわたるドライバーからの膨大なフィードバックに基づいて開発された新型車は、そのドライビング・ダイナミクスを通じて、より正確でコントロールしやすい感覚を呼び起こす一方で、従来の **Vantage GT4** がドライバーから好評を博していた扱いやすさや操作性も維持しています。デザインについてはレギュレーションによりわずかな変更しか認められていないため、**Vantage GT4** の外観は、素晴らしいデザインの新型 **Vantage** に酷似しています。よって、**GT4** のエアロダイナミクスパッケージの最適化には、数値流体力学（**CFD**）が用いられました。アストンマーティンのデザイン部門からの意見に基づき、こうした変更のすべてが最終デザインに確実に反映されます。

Vantage GT4 のボディ・パネルの大半は、標準的な市販モデルのもので、ボンネットは例外で、エアアウトレットが装備されており、サステナブルな天然亜麻繊維の複合材で作られ、コルクの芯材で補強されています。**GT4** レギュレーションでは、空力の変更も制限されています。つまり、新型 **Vantage GT4** の場合、大型のフロントスプリッターを装備し、新しいリア

ウィングが追加されることとなります。その結果、従来の **Vantage GT4** に比べてダウンフォースが増加し、空気抵抗が減少します。

また、気流管理、特にエンジンとブレーキへの冷却気の管理にも注意が払われています。どちらも新型 **Vantage** のデザインから恩恵を受けており、ラジエーターの開口部が大きくなったことで、エンジンの冷却システムに流れ込む空気量が増えました。ブレーキへのダクトエアも大幅に増加しています。リアウイング上の気流を乱すことなく、この2つが改善されたことは重要です。

徹底した開発プログラムを完了した新型 **Vantage GT4** は、先月アメリカ・フロリダ州で開催されたロレックス・デイトナ 24 時間レースの **IMSA** ミシュラン・パイロット・チャレンジで国際レースデビューを飾りました。現在、生産は順調に進んでおり、すでに数台のマシンが顧客チームのもとに届いているほか、**AMR** は 2024 年シーズン中に 40 台以上のオーダーを受注生産するために多忙を極めています。

2009 年に世界の舞台に登場して以来、アストンマーティン **Vantage GT4** はさまざまなモデルチェンジを経て、世界中の **GT** シリーズや耐久イベントで常にクラス優勝を果たしてきました。2018 年の発売以来、従来の **Vantage GT4** は数々の素晴らしい評価を得てきました。それは、数多くの国際耐久レースや国内の **GT** シリーズ、国内のクラブレースイベントやサーキット走行会で **Vantage GT4** を選択したチーム数に反映されています。

この勢いを持続させ、こうした遺産を引き継ぐことで、新型 **Vantage GT4** はプロレーサーにもアマチュアの熱狂的なファンにも最適な選択肢となり、チームとドライバーが勝利を目指して挑戦できる、スピード、信頼性、操作性を備えたパッケージを提供します。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。
<https://we.tl/t-E4bQ37V6B2>

アストンマーティン・ラゴндаについて:

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、**Vantage**、**DB12**、**DBS**、**DBX**に加え、同社初のハイパーカーである**Valkyrie**など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・

モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、アストンマーティン初の世界でもっともスリリングで魅力的なハイパフォーマンス・バッテリー式電気自動車の2025年発売を目指しています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界56か国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



www.astonmartin.com/media

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Marketing & Communications Manager-Japan/S.Korea
谷田 恵美

megumi.tanida@astonmartin.com

Aston Martin Lagonda
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific
有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 御園生資己：090-8063-7117

astonmartin-pr@pjbc.co.jp